

第1学年 国語科学習指導案

日 時：平成29年6月30日（金）第5校時
 場 所：1年1組教室（1階）
 授業者：大西 友美
 児童数：33名

- 1 単元名：ことばのまとまりやリズムに気を付けて音読しよう
 2 教材名：おむすびころりん

3 指導の立場

(1) 児童の実態

児童は、平仮名を学習し平仮名を正しく読む力をつけているが、文や言葉としての理解までは至っていない児童もいる。また、児童は大きな声で楽しく音読できるが、言葉のまとまりやリズムを正しく音読できる児童は少ない。そのため、音読記号の指導をすることで、おじいさんの様子を正しく理解し、語のまとまりやリズムに気を付けて音読できる児童を増やしていきたい。

(2) 本時の指導について

【単元指導計画の工夫】

1つ目に、指導事項ア「語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。」を達成するために、本単元を貫く言語活動を「言葉のまとまりやリズムに気を付けて、音読発表会をする。」と設定した。また、三次に読発表会を位置付けることで、目的をもって音読することができると考えた。

2つ目に、出口の音読発表会の見通しをもって学ぶことができると考えたので、単位時間の後半にミニ音読発表会を設定することにした。

【指導方法・指導形態の工夫】

1つ目に、おじいさんの様子を聞く人に伝える音読をするために、音読記号を使う指導を行うことにした。無理をせず、1つ使えればよいとした。

2つ目に、ワークシートに音読のまとめを書くことによって、言葉のまとまりや響きを意識した音読ができると考えた。

3つ目に、ミニ音読発表会で児童が互いに評価し合うことで、音読の技能を高め、読みが深まると考えた。

【学習環境の工夫】

音読記号を書き込んでいる児童のワークシートをタブレットPCで撮影し、大型テレビに映すことで、支援が必要な児童が音読記号を書き込めるようにする。

4 本時の目標

「踊った踊った」や「ふりふり」などの繰り返しの表現に着目し、家に帰っておばあさんと一緒に喜ぶおじいさんの様子が伝わるように、語のまとまりやリズムに気を付けて音読することができる。（読むこと ア）

5 本時の展開（4/5）

〔評価規準〕

※ICT活用について

過程	過程の目標	主な学習活動	指導・援助
つかむ	○前時を振り返り、本時の学習課題をつかむことができる。	1 前時を振り返り、本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">いえにかえったおじいさんのようすをおんどくであらわそう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> つかむ（5分） 前時を振り返り、本時の場面とつなげて考えることができるようにするために、前時までの学習内容を掲示し想起しやすくする。
ふかめる	○部分視写を通して大事な言葉に気付き、音読記号を書き込み音読することができる。 ○繰り返しの言葉やおじいさんの様子を音読で表現することができる。	2 個人追究をし、おじいさんの様子が伝わる音読を考える。 <ul style="list-style-type: none"> 繰り返しの言葉を部分視写する。 音読記号を1つ書き込む。 大きい→㊦ 小さい→㊧ 速い→㊨ ゆっくり→㊩ 音読練習をする。 3 全体追究をして、おじいさんの気持ちを深め、音読に生かす。 <ul style="list-style-type: none"> おどった おどった → おどるおじいさんの様子 …踊っているから大きな声で読もう。 すつとんとん → 笑って おどっている …速く読もう。 あれ あれ あれ → 不思議な様子。…だんだん大きく読もう。 ざあら ざら → 驚いている様子。…2回目を大きく読もう。 ざっく ざく → 嬉しくて驚く様子。…もっと大きく読もう。 おむすび ころりん すつとんとん → 物語が終わる様子。 …だんだん小さく読もう。 ゆっくり読もう。 4 おじいさんの気持ちが伝わるように、本文の言葉をどのように音読するとよいかまとめ、音読練習をする。 ○どのように音読するとおじいさんの気持ちがよく伝わるかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">①いえにかえったおじいさんは、たのしくおどっている。 ②そこで、「おどった」を ③おおきく よみます。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを準備する。 ※ねらいを達成している児童のワークシートをタブレットPCで撮影し大型テレビに映して、支援が必要な児童が音読記号を書き込めるようにする。 自主的に音読している児童を価値付ける。 ワークシートを拡大コピーしたものを黒板に貼る。 おじいさんの様子を考えるために、動作化を行う。 おじいさんやおばあさんのお面や小道具を準備する。 部分音読を取り入れ、全体で音読することで、個人の音読の技能を高められるようにする。 カスタネットを入れてリズムを整えて音読できるようにする。 ワークシートに穴埋めのまとめを準備する。 おじいさんの気持ち、叙述、音読の工夫の3点を書き込めるようにする。 書き込んだ後は、音読練習を行う。 書くことに支援が必要な児童のために、板書に手本を示す。
まとめる	○ミニ音読発表会を行い振り返ることで、仲間の音読のよさに気付き、自分の音読に生かそうとできる。	5 班でミニ音読発表会を行う。 A：私は、①家に帰ったおじいさんは、たのしくおどっています。 ②そこで、「おどった」を ③おおきく よみます。（音読する。） B：Aさんが、すつとんとんを大きな声で読んでいたのでよかったです。 C、D（E）と発表する。きらきら見つけを行う。 6 振り返りをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">①いえにかえったおじいさんのようすがわかったか。 ②おじいさんのようすがわかる「だいじなことば」をみつけたか。 ③おんどくのくふうができたか。 ④きらきらおんどくをみつけたか。</div>	<ul style="list-style-type: none"> 班長が進行できるようにする。 児童が音読のまとめを読んだ後、音読を行い、他の児童が評価できるようにする。 時間を13分以上とれるように配慮する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> おばあさんと一緒に喜ぶおじいさんの様子が伝わるように、語のまとまりやリズムに気を付けて音読している。（読ア） </div>

6 国語科単元学習指導計画

(1) 単元の目標

◎語や文としてのまとまりや内容、文のリズムに注意しながら声に出して読むことができる。<C- (1) -ア>

(2) 単元を貫く言語活動

・言葉のまとまりやリズムに気をつけて、音読発表会をする。

(3) 単元指導計画 : 全5時間

時数	目標	主な学習活動	評価規準
一次 1	単元を貫く学習課題をもち、学習計画を作成することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「おむすびころりん」の範読を聞く。 ・感想をもつ。 ・単元を貫く課題をもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">おじいさんのようすをことばのまとまりやりずむにきをつけて、おんどくはっぴょうかいをしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画を立てる。 ・登場人物と場面の確認をする。 	目的意識をもち、「おむすびころりん」の音読に進んで取り組もうとしている(関)
二次 2	ねずみの歌を聞いて喜び踊りだすおじいさんの様子が伝わるように、語のまとまりやリズムに気を付けて音読できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題をもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">おどりだすおじいさんのようすをおんどくであらわそう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・個人追究をする。 ・全体追究をする。 ・まとめる。 ・ミニ音読発表会をする。 	ねずみの歌を聞いて喜ぶおじいさんの様子が伝わるように、語のまとまりやリズムに気を付けて音読している。 (読ア)
3	穴に落ちねずみに歓迎され楽しむおじいさんの様子が伝わるように、語のまとまりやリズムに気を付けて音読できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題をもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">あなにおちたおじいさんのようすをおんどくであらわそう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・個人追究をする。 ・全体追究をする。 ・まとめる。 ・ミニ音読発表会をする。 	ねずみに歓迎され楽しむおじいさんの様子が伝わるように、語のまとまりやリズムに気を付けて音読している。 (読ア)
4 本時	家に帰っておばあさんと一緒に喜ぶおじいさんの様子が伝わるように、語のまとまりやリズムに気を付けて音読できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題をもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">いえにかえったおじいさんのようすをおんどくであらわそう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・個人追究をする。 ・全体追究をする。 ・まとめる。 ・ミニ音読発表会をする。 	おばあさんと一緒に喜ぶおじいさんの様子が伝わるように、語のまとまりやリズムに気を付けて音読している。 (読ア)

三次 5	おじいさんの様子を表現した音読発表会を行うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・班で音読発表会の練習を行う。 ・音読発表会を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">おじいさんのようすをことばのまとまりやりずむにきをつけて、おんどくはっぴょうかいをしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りをする。 	おじいさんの様子が伝わるように、語や文としてのまとまりや内容、文のリズムに注意しながら音読している。 (読ア)
---------	------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------